

指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和6（2024）年度

施設名	栃木県那須野が原公園
施設所管課	県土整備部都市整備課
指定管理者	那須野が原公園指定管理グループ ・公益財団法人栃木県民公園福祉協会（法人番号9060005007605） ・栃木県造園建設業協同組合（法人番号8060005000511）
指定期間	令和6（2024）年4月1日～令和11（2029）年3月31日

1 施設の概要

施設所在地	那須塩原市千本松801-3
施設の概要	①指定管理者による管理面積 56.9ha（ファミリープールを除く） ②主要な施設 テニスコート、フィールドアスレチック、そり遊び広場、オートキャンプ場、サンサンタワー、わんぱく広場、はらっぱ、緑の相談所、貸自転車、バッテリーカー、ファミリープール
業務内容	①公園の維持管理に関する業務 ②有料公園施設の利用の許可に関する業務 ③公園の運営に関する業務

2 収支の状況

令和6（2024）年度

（千円）

収入			支出		
指	指定管理料	87,219	指	事業費	9,944
定	利用料金収入	41,860	定	管理運営費	83,135
管	その他収入*1	364	管	人件費	35,137
理			理	その他支出*1	7,326
*2	合計	129,443	*2	合計	135,542
指定管理業務収支差額① ▲6,099					
自主事業 16,149			自主事業 15,306		
自主事業収支差額② 843					
収支差額（①+②） ▲5,256					
備考（※1 その他収入の主なものを記載）			備考（※1 その他支出の主なものを記載）		
負担金 324千円			租税公課 7,326千円		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

令和5（2023）年度

（千円）

収入			支出		
指	指定管理料	83,600	指	事業費	9,361
定	利用料金収入	44,825	定	管理運営費	74,567
管	その他収入*1	250	管	人件費	33,093
理			理	その他支出*1	7,868
*2	合計	128,676	*2	合計	124,889
指定管理業務収支差額① 3,787					
自主事業 16,102			自主事業 15,325		
自主事業収支差額② 777					
収支差額（①+②） 4,564					
備考（※1 その他収入の主なものを記載）			備考（※1 その他支出の主なものを記載）		
負担金 227千円			租税公課 7,868千円		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

3 利用状況

	令和5（2023）年度 （前年度）	令和6（2024）年度
公園利用者	284,013人	280,222人

施設名（利用料金施設）	令和5（2023）年度 （前年度）	令和6（2024）年度
フィールドアスレチック	16,621人	15,330人
そり遊び広場	8,145人	6,610人
テニスコート	11,214人	11,461人
オートキャンプ場	14,572人	12,281人
サンサントワー	7,843人	8,640人
合計	58,395人	54,322人

施設名		令和5（2023）年度 （前年度）	令和6（2024）年度
緑の相談所	相談件数	66件	162件
	催し物回数 （延べ人数）	49回 (17,692人)	47回 (17,401人)
	講習회回数 （延べ人数）	19回 (231人)	32回 (238人)

4 サービス向上に向けた取組

<p>(1) 基本テーマに基づいた管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 花の丘の整備や展望塔付近のクリスマスローズの植栽管理、郷土の広場花壇、大池花壇、風車花壇を季節の花々で修景するなど、「花の見どころ」づくりを進めた。 展望塔において、とちぎ結婚応援カード「とちマリ」に協賛し、ペアで入場の方に限り1名分を無料として支援に努めた。 <p>(2) 利用者満足度を高める管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の利便性向上を図るため、展望塔にキャッシュレス決済対応の券売機を導入した。 グリーンフェスタ期間中にマルシェイベント「Good Holiday ～グリーン&アウトドアフェス～」を開催した。メイン会場の北側にある風車周辺に「ウェルカム花壇」を修景し、「花でおもてなし」に努めた。 オートキャンプ場及び管理センターで、自然素材を活かしたクラフトコーナーを設置して、小さなお子様から大人まで気軽に楽しめるように取り組んだ。 管理事務所、キャンプ場サービスセンターではハロウィン、クリスマス、正月、ひな祭り等のイベントに併せて装飾を行った。 ホームページやSNS等を活用し、花の開花状況やイベント内容など旬な情報を提供した。また来園者に分かりやすいよう、園内の位置図と開花場所をリンクさせた「開花情報板」を緑の相談所入口に設置した。 栃木県と連携し、「家庭の日スタンプラリー2024」および「家庭の日絵日記コンテスト入賞作品展」を行った。 緑の相談所講座の参加者などからアンケートを取り、事象によっては迅速な対応を行い、管理運営に反映した。 <p>また、巡視員の直接聞き取りにより苦情や要望を把握し、適切かつ早期に対応した。</p> <p>(3) 自然環境を保護・保全する管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 園内全域に及ぶ枯損木や危険木の調査を実施し、倒木や枯れ枝落下による利用者等の危険防止のため枯損木及び危険木の伐採を優先して行った。 <p>(4) 地域活動拠点として地域と共に生きる公園づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 那須地域で盛んな駅伝やマラソンなど、公園を会場にした大会開催により地域の特性に対応した

公園管理運営に努めた。

(5) 効率的・安定性のある管理運営

- ・遊具施設や電気・水道設備などの定期的な安全点検を実施し、安全な施設の提供に努めた。
中でもわんぱく広場やアスレチック施設は、直営の日常点検や定期点検に加え、専門業者による遊具の安全点検を実施し点検結果を踏まえた修繕を施すなど、来園者が安心して利用できる安全な施設の提供に努めた。

(6) 施設利用提供の実施計画

- ・安全、安心な公園利用を図るため、施設及び駐車場の利用時間を日没に合わせてきめ細やかで適正な利用時間範囲で運営した。また、施設の利用料金、利用日は利用者のニーズに合わせて設定するなど、サービス向上を図った。

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法				
<ul style="list-style-type: none"> ・管理事務所に意見箱を常時設置し、ご意見票を回収 回収件数 89件 				
主なご意見票の項目	良い	良い方	あまり良くない	悪い
公園内はきれいでしたか	47.1%	44.8%	6.9%	1.1%
公園の管理状況はいかがでしたか	54.7%	41.9%	3.5%	0.0%
花壇や樹木などの植物の管理状態はいかがでしたか	65.9%	32.9%	1.2%	0.0%
スタッフの対応はいかがでしたか	75.0%	22.5%	1.3%	1.3%
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで意見を受付 ・イベントや緑の相談所の講座の参加者へアンケート調査を実施 ・那須野が原公園連絡協議会を開催し、意見・要望を聞き取り 				
主な利用者意見（苦情・要望）	対 応			
<ul style="list-style-type: none"> ・千本松牧場の近くである好立地の為、休憩所や遊具など、もっときれいに維持すると良いと思う。子どもの遊ぶ場所が減っている今、このような場所を残すのは重要である。 ・自転車1時間で半額にしてほしいです。かなり楽しいのでもっと利用者が増えるのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜清掃等を行い、清潔の維持に努めておりますが、安全・安心の観点からも施設維持に努めて参り、より良い公園でありますようにご意見を参考とさせていただきます。 ・公園を満喫いただくため、2時間を基本としておりますが、ご意見を踏まえ今後の管理運営の参考にさせていただきます。 			
主な利用者意見（積極的評価）	<ul style="list-style-type: none"> ・犬をつれて、毎年訪れます。とても花がきれいで、広くて楽しめます。 ・この公園は、すごく遊具もあるし、アスレチックやそりすべり、展望台、貸自転車、鯉の餌すごくいい公園です。 ・キャンプ場も、いつもキレイで気持ちよく利用しています。ありがとうございます。また来ます。 			

6 指定管理者による自己評価

<p>成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度における公園利用者数は、310,000人の目標に対し280,222人であった。上半期公園利用者数は前年度比プラスで推移していたが、下半期は冬季の天候不良の影響を大きく受けた。 令和6年度は、指定管理期間1年目として老朽化した公園の機能回復を重点に管理を行った。集水樹にたまった土砂により正面駐車場が排水不良を起こしたため、全ての集水樹の土砂を除去する等の維持管理に努めた。また、キャンプ場では開設以来そのままであった、キャビン14棟の室内壁紙を全て張替え、利用者の快適性向上に努めた。 長寿命化・コスト削減を目的とし貸自転車棟の照明をLED化した。また、毎年続く猛暑の中、従業員の勤務環境を整えるためにテニス受付所の空調を更新した。なお、今年度は修繕料として6,030,998円を支出した。 自主事業においては、那須地域の小学校に通学している小学生を対象にファミリープールの利用料金を割引し、近隣地域へのサービス向上及び利用促進を図った。また、プールのイベントとして令和5年度において大変好評だった「フラダンスショー」を2回実施した。 近隣施設とのコラボ企画として近隣キャンプ場にファミリープール割引券を配布して連携を図った。 地域と協働で実施する「那須野が原ウォーク」においては、那須塩原市、土地改良区連合、田園空間博物館、千本松牧場、東京電力と協働で実施し好評をいただいた。 参加者には那須野が原の開拓の歴史に触れる機会と牧歌的な風情や紅葉を楽しんでもらえた。 広報においては、ツイッターやインスタグラムなどのSNSを活用し、こまめに旬な情報を発信するなど、効果的な情報提供が利用者増に繋がった。 令和6年度は、事故の未然防止対策として車や来園者が多く通る外周園路やキャンプ場内の枯松伐採を計画的に実施した。次年度に向けても事故防止の観点から枯損木の伐採を進める。 植栽管理においては、松くい虫による枯松や正面駐車場周辺の樹木を伐採し、公園の景観を保持しながら安全で安心して利用できる公園づくりに取り組んだ。 バックホーやユニック車を活用し、植栽の植替えや落葉のストックヤードの整理など重機による効率の良い園内整備作業を実施した。 作業機械を取り扱う全従業員に、作業機械等の安全研修を受講させ、安全管理を徹底した。 自主事業で、ニュースポーツのモルックの貸出をはじめた。 	
<p>公園の特性を生かした管理運営に向けた取組</p>	<p>※指定管理者が独自に設定</p>
<ul style="list-style-type: none"> 花の丘、郷土の広場、大池、風車、キャンプ場の花壇にボランティアと協働で季節の花を植栽し、「花の見どころづくり」に取り組み、来園者を楽しませた。また、マルシェイベント「Good Holiday ～グリーン&アウトドアフェス～」を開催し、公園をアピールするとともに、メイン会場の北側にある風車周辺に「ウェルカム花壇」を修景し、「花でおもてなし」を行った。 	
<p>今後改善・工夫したい事項</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 今後も人件費や燃料費など、物価の高騰により公園管理費の増大が懸念されることから、多目的な業務に対応できるマルチスタッフの育成や節電、3R（リサイクル、リユース、リデュース）による手法で経費削減に努める。 利用者から好評の「花の見どころづくり」を、引き続き花の丘、郷土の広場、大池、風車、キャンプ場の花壇で展開し、開花状況などをSNS等で発信し、集客を図りたい。 開園して以来36年以上を経過した公園の樹木は、巨木化し景観を損ねているほか、枝同士が重なり落下する危険度が高まっている。枯損木や危険木の調査を行い、計画的な伐採を実施する。 展望塔の利用促進を図るべく、展望塔からの景色と合わせて赤田調整池について学べるパネルを設置する。また小学生絵画展を開催し、地域団体・市民と連携しながら新たな情報発信基地としての役割を担う施設づくりをすすめる。 良好に展開している周辺施設（千本松牧場・ピラミッド元氣温泉・KA-MA-DOキャンプグラウンド）と連携した利用促進、地域活性を更に推し進める。 利便性向上のため有料施設のキャッシュレス決済対応を進める。 	

7 所管課室による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の 平等利用の 確保	① 住民の平等利用が確保されたか。	適切に実施されている。	B
	② 使用許可に関する権限が適正に行使されたか。	所定の手続きに則り、適切な許可が行われている。	B
	③ 高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか。また、平等利用が確保できない場合の対応は適切か。	高齢者や身障者に対し配慮するなど事業計画書どおりされている。	B
2. 施設の 効用の最大 限発揮	① 施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか。	事業計画に基づき、施設の設置目的に沿った業務が実施されている。	B
	② 施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか。	近隣市町の小学校にプール割引券を配布したり、キャンプ場利用者にプールの割引を行ったり、展望塔にキャッシュレス決済対応の券売機を導入したりなど、利用の促進、利便性向上を図った。	B
	③ 利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか。	利用者の満足度は昨年並みだった。	B
	④ 利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか。	要望・苦情に対して、適切且つ迅速に組み対応している。	B
	⑤ 施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか。	日常・定期点検を実施し、その記録が保管されているとともに、管理打合せ簿にて修繕の提案・修繕実施報告され、その修繕履歴が適切に保管されている。また、備品の管理は適切に実施されている。	B
	⑥ 指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか。	テニス受付所の空調を更新するなど、従業員の勤務環境改善に努めた。	B
3. 管理を 安定的に行 う物的人的 基礎	① 組織体制は適正か。	当該業務を概ね適切に遂行できる組織となっている。	B
	② 収支は適正でバランスがとれたものか。	概ね適正である。	B
	③ 経費の縮減に取り組まれてきたか。	事業計画書どおり多目的、多用途に従事するスタッフを配置し人件費を削減するとともに、保険契約等は一括契約を行い経費削減に取り組んでいる。	B
	④ 人材育成は適切に実施されているか。	公園管理に必要な資格の取得や技術と能力を向上するため、事業計画書に基づいた研修を実施した。	B
	⑤ 危機管理体制(事故、緊急時の対応)は確保されているか。	緊急時連絡体制により、関係部署との連絡体制は確保できている。また、異常気象時の対応も適切に対応・報告がなされていた。	B
	⑥ 県や関係機関との連携体制は確保されているか。	県や関係機関と連携し、管理運営を行っている。	B
4. 個人情報 保護	① 個人情報の保護についての措置が計画どおり実施されているか。	個人情報の保護に関する要領を定め、適切に保護をしている。	B
	② 情報公開は適切になされているか。	情報公開事務処理要領を定め、適切に運用をしている。	B

5. その他	① 施設の特徴にふさわしい自己評価がなされているか。	適切な自己評価が行われた。	B
	② 自主事業が計画どおりに実施されているか。	自主事業について、適切に実施された。	B
	③ イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られているか。	千本松牧場とのコラボ企画を実施した。那須塩原市、土地改良区連合、田園空間博物館、千本松牧場、東京電力と連携し那須野が原ウォークを実施し、多くの地域住民が参加した。	B
	④ 環境への配慮（騒音・光害対策、ごみ削減等）がなされているか。	公園利用者にはごみの持ち帰りをお願いし、ごみ削減等に努めている。また、貸自転車棟の照明についてLED化を行った。	B
	⑤ その他管理運営上の特記事項	新型コロナウイルス感染症対策を図り安全な管理運営を実現した。	B
総合的な評価			
<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度の利用者数は前年度から約4千人減の約280千人となった。 安全・安心に重点的に取り組み、倒木、落枝防止を含めた維持管理を実施することで、利用者の安全確保に努めている。 周辺施設と連携したイベント開催や地域の大会会場として選ばれる等、地域活性に貢献している。 引き続き安全管理に気を配りながら、イベント等により魅力アップを図ることで、公園利用者数の増加につなげてほしい。 			

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A：事業計画に対して優れた取組となっている。
- B：事業計画どおりの取組となっている。
- C：事業計画に対して劣る取組となっている。
- D：事業計画に対して著しく劣る取組となっている。